

令和 6 年度 新潟市除雪体制に関するオブザーバー会議
意見まとめ

1 新潟市除雪体制等検証会議の提言を踏まえた取組みについて、構成員の皆様から見たご意見についてお答えください。

問 1) 「除排雪の効率化」に関する取組みについて

(1) 令和 6 年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7 評価できない どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・雪捨場、雪置場の増設に取り組んでいただいておりますが、平成 30 年や令和 3 年のような大雪時に備え、引き続き雪捨場、雪置場の確保をお願いします。
- ・A I や定点カメラの導入などにより、効率よく客観的な判断のもと除雪の可否の判断が可能となり、出動判断もスピーディに行われるものと期待します。
- ・除雪の担い手不足が大きな課題となっています。「ワンオペ除雪」の可能な路線・機種等の検討をしていただきたいと思います。
- ・新技術の活用でスマホやカメラが設置され、現況が市民の方にも共有出来ると更に良いと思います。
- ・各種データを活用し除雪作業が長時間かかる場所等を把握し、情報を蓄積し限定的な除雪体制を適正に運用していく方向性は評価できると思います。また、新たな技術を活用して省力化や効率化を図っているところも良いことと思いますが、新たな技術等の活用の実態については今後も効果の検証を継続していただきたい。
- ・除排雪の効率化について、各種工夫により良い方向に向かっていると思います。さらに施策の検証を継続していただきたい。

問 2) 「市民広報の積極的な展開」に関する取組みについて

(1) 令和 6 年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7 評価できない どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・市民広報は分かりやすく内容も充実していますが、更なる知名度の向上に努めていただくようお願いします。
- ・オブザーバー会議にて検討されていますように、異常降雪時はラジオやテレビでの情報発信があると、効果的と思われます。特に気象予報からの事前（前日のみならず、週単位でも）の情報発信が効果的かと思われます。
- ・近年、異常降雪が予想される場合「気象庁・国交省」の会見をニュース等で見かけますが、市でも同じような情報発信を行うことにより、より身近な問題として市民の方々が認識するのではないかと思います（すでに同様なことをしていればすみません）。パンフレット・SNS 等の情報発信は継続して除雪作業への理解をお

願います。

- ・積雪 50 c m以上を災害とみなして市がテレワークするようにしたいとのことですが、現実化できれば大きな広報材料となります。実現に向け頑張ってくださいと思います。
- ・新潟市は市民の方々以外にも近隣の市町村から就業に来られている方も多くと思いますので、企業への更なる広報も必要だと思います。
- ・雪を災害としてとらえ、市ができること、できないことなど実際に市が行える範囲を明確にしつつ、市民の協力を得る方向性が大変良いと思います。
- ・意識改革や行動変容は、周知までに大変な時間を要するので、各種広報の継続性が大変重要と思います。
- ・「にいがた雪の日辞典」は、書かれている内容が全国的にも素晴らしいものと評価できます。今後も本紙を活用すると同時に、大雪時の行動変容のためいろいろな方策を検討実施くださるようお願いいたします。

問3) PDCAサイクルに基づいた検証の実施状況(検証体制や手法)について

(1) 令和6年度の新潟市の取り組みは評価できますか。

評価できる…7 評価できない どちらともいえない

(2) そのほか、ご意見がありましたらご記入ください。

(回答なし)

PDCA サイクルに基づいた検証することによって、社会情勢や降雪状況にマッチした対応を、関係者の意見を取り入れた体制で行うことができるので、今後も継続するとよいと思います。

2 その他の課題について

上記のほか、ご意見がありましたらご記入ください。

- ・運行システムの不具合が頻度は少なくなっていますが発生しています。
- ・障害物（マンホール、架線）の整備を要望しているが実施されていません。
- ・作業機械の免許取得の補助、操作訓練、講習会の実施を促進していただきたい。
- ・凍結防止剤散布の検証については交通事故・渋滞などに直結する問題である為、十分な協議、検討を行う必要があると思います。（警察・消防・タクシー等、多方面からの意見聴取も検討したほうが良いと思います。）
- ・行動変容を促すことが肝要。人は「のど元過ぎれば熱さ忘れる」習性がある。昨年は総じて小雪であったが、初めにドカンと降った。今後警報が出る際には、その時の交通渋滞の例を示して、早めの帰宅や買い物を済ませることなどを促す言葉も添えてほしい。どうしても出かけなければならない方の負担を少なくするためにも、不要不急の外出は控えることを促してほしい。
- ・「大雪は災害」であり、即ち「災害時は命を守る」ことが一番大切であることから、休校や休業については、“要請”に留めるのではなく、「大雪警戒レベル●の時は高校休校を前提とする」など、実効性のあるルール化を検討してもよいと思います。